学校番号	401

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	精選　論理国語　（三省堂）						
副教材等	・大学入試に出た核心漢字2500＋語彙1000（尚文書店） ・最新国語便覧（浜島書店） ・完成　日本文学史ノート（啓隆社） ・論理的に考えるLT 現代文 LT2（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「実社会・実生活」に生きて働く「国語の能力」を高めるために大切な授業です。主体的に積極的に学習に取り組んでください。
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けつつ、論理的・批判的・創造的に考える力を養い、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を伸ばすように心がけて下さい。
・授業では「読む」活動だけでなく、話し合いや論述などの「話すこと」・「聞くこと」・「書くこと」の活動も行います。現代社会は、これまで以上に高い国語の能力が必要とされています。実社会や実生活に生かせるよう、「言葉の特徴や使い方」に関する知識や技能を身につけ、「思考力」・「判断力」・「表現力」等の能力を育成し、「国語の能力」を高められるよう努力してください。
・「国語の能力」は毎日コツコツと身に付けていくものです。日頃から、相手が確実に理解できるように自分の考えを適切な言葉で表現することを心掛け、日本語で書かれたさまざまな文章を読んで的確な表現や美しい表現に接する機会を増やすことが大切です。
・本文を読み、わからない漢字の読みや語句があれば、辞書などで調べましょう。それでもわからないことや疑問に思ったことは授業で解決し、学んだことは必ず復習をして身につけてください。
・授業中のノートについては、板書以外でも重要なことだと思えばメモしておきましょう。小テストは家庭学習が重要です。テスト範囲はしっかりと学習し身につけてテストに臨みましょう。課題は必ず取り組み提出期限を守ってください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	評論の基本的な読み方を習得する。また、思考力と対比して論理力とは何かを考える。 ［教材］論理力と思考力（野矢茂樹） 「納得の構造」（渡辺雅子）	a：常用漢字を文章の中で活用している。語彙を豊かにしている。 b：[読]内容や構成・論理の展開を的確に捉え、要旨を理解している。 c：筆者の提言に対する自分の考えを積極的に表現している。	課題 小テスト 定期考査	ノート 定期考査 課題	授業態度 指名音読 発問評価 課題
	評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解し、都市生活における自己と他者の関係について考える。 ［教材］ぬくみ （鷲田清一）	a：常用漢字を文章の中で活用する。語彙を豊かにする。推論の仕方について理解を深めている。 b：[読]内容や構成・論理の展開を的確に捉え、要旨を理解している。 c：筆者の主張に対する自分の考えを積極的に表現している。	課題 小テスト 定期考査	ノート 定期考査 課題	授業態度 指名音読 発問評価 課題
	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉え、人類史から環境問題を考える。 ［教材］人類による環境への影響 （鷲谷いづみ）	a：言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを十分に理解し、その知識を活用している。 b：[話・聞]自分の立場や考えを明確にしている。 c：積極的に課題に沿って話している。	課題 小テスト 定期考査	ノート 定期考査 課題	授業態度 課題 話し合い
二学期	深い思索をもとに言葉とアイデンティティの関係について考える。	a：筋道を立てて考えることを通して、必要な情報を関連付けて、自分の	課題 小テスト	ノート 定期考査	授業態度 課題

	［教材］言葉がつくる女と男（中村桃子）	考えを広げたり深めたりしている。 b：［話・聞］書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を多角的に深めている。 c： 本文の内容を踏まえ言葉とアイデンティティの関係について考え、言葉の創造性について、自身の経験について話し合い、自分の考えを深め、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	課題	話し合い
	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、生命科学の可能性と課題について考える。 ［教材］ゲノム編集とiPS 細胞（山中伸弥）	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 b：［話・聞］主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：本文の内容を踏まえて生命科学や生命倫理、そして生命について話し合い、自分の考えを深めようとしている。	課題 小テスト 定期考査	ノート 定期考査 課題	授業態度 指名音読 発問評価 話し合い 課題
	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉え、芸術作品について考え、自分の感じたことをまとめる。 ［教材］ミロのヴィーナス（清岡卓行） 「空白の意味」（原研哉）	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し正しく活用している。 b：［読］内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握している。 c：本文の内容を踏まえ、ミロのヴィーナスの「魅力」、「空白」のもつ意味について話し合い、芸術作品における自分の考えを深めようとしている。	課題 小テスト 定期考査	ノート 定期考査 課題	授業態度 話し合い 課題
三学期	科学技術について書かれた文章を読み、科学の知とはどのようなものかを理解する。 ［教材］「なぜ」に答えられない科学（池内了）	a：常用漢字を文や文章の中で活用している。語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 b：［読］内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 c：本文内容の正しい理解を踏まえ、科学者と神の関係に注目して、科学の知・科学技術と人間について考察し、読み手を意識しながらわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	課題 小テスト 定期考査	ノート 課題 定期考査	授業態度 指名音読 発問評価 発表

	市民社会ということで、アメリカの陪審制度の事例をもとに「市民」の意味について考える。 ［教材］「市民」のイメージ（日野啓三）	a：文章の効果的な接続の仕方について理解している。 b：［読］内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 c：本文の内容を踏まえて、「市民社会」の権利と義務について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	課題 小テスト 定期考査	ノート 課題 定期考査	授業態度 指名音読 発問評価 課題

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと …　（　　5　　）時間

・書くこと　　…　（　　25　　）時間

・読むこと　　…　（　　40　　）時間